学校番号	T3017

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	（学）情報と文化D	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

情報社会における数値や図表についてのデータを精査し、情報の信頼性を確かめる方法を学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】 情報を統計学や情報メディアの観点から分析する方法を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 的確にかつ端的に情報を精査する方法を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 情報をどのように取り扱うのか、情報社会との向き合い方についてリテラシーを身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報の具体例や凡例から正しい情報とそうでない情報を精査する手段を身につけることができる。	正しい情報と誤りのある、あるいは疑い深い情報の違いを精査し、特に数値については注意することができる力を身につける。	情報発信について関心を持ち、実際に正誤ある情報を発信する際にはどのような事柄に気を付けなければならないのかを考える力を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	情報を受信する	・情報を手に入れる方法 ・メディアリテラシー ・SNSと匿名の書き込み	a:情報について理解し、適切に情報を手に入れる手段を身につけている。 b:自分の手に入れたい情報を適格にかつ正確に知る方法を想定することができる。 c:多様な情報に関心を持ち、今後の生活に役立つような情報を積極的に入手しようとしている。	授業プリント 報告書	授業プリント 報告書	報告書 授業中の実習課題に対する取り組み
後期	情報を発信する	・統計学 ・正規分布 ・相関 ・誤差	a:情報を精査することに対して数値の情報を統計学により分析することができる。 b:入手した情報をどのような観点から精査すればよいのかを自ら考えることができる。 c:情報社会において発信されている事柄について、根拠や情報元を常に確認し、生活に取り組もうとしている。	授業プリント 報告書	授業プリント 報告書	報告書 授業中の実習課題に対する取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度